

一

二

三

三

く	た	の	う	む	な	ね	つ
廿六丁	廿二丁	二十丁	十五丁	十四丁	十丁	五丁	一丁
						廿三丁	廿九丁

911.107  
Su871g



はナリ此義ヨリトヤ  
グ土産ノ意ニ変リタ  
ルナリ山ヅも濱ヅト家ヅトナド云ヘリ。

○苞直(ワラヅ)ニナリ  
今ツト入りフキノタフノツトナド云フニ同シカレイヒノツトニベニタウノツトナリ。

○セイダス  
○ホネラル

○フゾム  
○集又ハ漆ヲ訓ムアツ  
マルナリ古事記ニ神  
熊熊而トアリ。

○塊ツチノカヌマシナ  
つちくれ

どくろつぎのやうなれ人あふ都のつふらざりしを

山井の清水もなびつかわらひのつぎをさうぞう

身まよひたあふびつらうちをさうぞう

おのゝあはれをさうぞう

きの大まへつとまほやうをさうぞう

のちをさうぞう

冷きやかりの板がきりやうなれつちくれ

リ

○つるぎ  
○鶴雁ノ裾ヲマクリテ  
カチ渡リスルサマヲ云。

○つるぎの衣  
○ツルバミハ、椽ノメギ  
ナリ、其実ヲ椽斗下ニ  
グリト云、其形ヲ漆草  
ニ用ウ、今義解ニ椽ノ  
黒衣トアルハ、ツルバミ深ノ衣ナリ。

○つらのみま  
○万葉ニ剽ノ開トアリ  
テ暫時ヲ云ヘリトキ  
ノマツエノマナド云  
フニ同シ。

○つらのみま  
○時ニ同シ。

冷きやかりの板がきりやうなれつちくれ

のちをさうぞう

きの大まへつとまほやうをさうぞう

おのゝあはれをさうぞう

身まよひたあふびつらうちをさうぞう

わらわのあはれをさうぞう

どくろつぎのやうなれ



つむぎさく  
○前二同

つらら

○濕草ナリ馬鞭草和名  
久未豆々良

つむぎ

○鼓ヲ訓ム今云大鼓モ  
亦ツツミナリ

つらら

○九折ヲ訓ム昔ノ蔓ヲ  
折返シて曲ゲタル

つらら

○ツラホノノ義ナリ常  
ニ熱ノ字ヲアテ用ウ

つむぎさく

つらら

つむぎ

つらら

つらら

つらら

如キ形ノ路ヲ云山ノ嶮岨ナル坂ニ多ク云ハリ

つらら  
○今ホ、ツエ(類杖)ト云

つらら

○ツラ、ハ、コホリト云  
フニ同シ、軒端、簷ナド  
ヨリ垂ル、氷ツノミ  
云フニアラズ、たるひノ條ヲ見合ヌミ

つむぎ

○身ヲ振ルニ

つむぎ

○苧ニオホクヨメリ、形  
ノメグム如キ形ヲモ  
テ云フナリ

つらら

つらら

つらら

つらら

つらら

つらら

つらら

つぐぐ  
 〇 歎息ノ音ナリ。ツクツク  
 クツライナド今モイ  
 へリ。

つぐし髪  
 〇 江戸草。今モツクト云  
 モノ。ト古意ニハ云  
 レタリ。藤井高尚ノ新  
 大系夫夫

つぐ  
 〇 ツタハ(傳)ナリ。タハノ  
 約ハテナリ。ヒトツテ  
 ハヒトツタハナリ。

つぎて  
 〇 ツクイテシ  
 古  
 和春

つね  
 〇 ツクイテシ  
 梓

つね  
 〇 ツクイテシ

つね  
 〇 ツクイテシ

つね  
 〇 ツクイテシ

つね  
 〇 ツクイテシ

つね  
 〇 ツクイテシ

つね  
 〇 ツクイテシ

つひの  
 〇 藤原ノリ。藤原ノ地  
 ツクノスミハト云

禰の部

○ ねぢけ人  
倭人ノコナリ

○ ねがはくハ  
額ハクノハクノ約ハ  
ワナリ額フノワラ延  
ベタルナリ。

ねよしの産

○ 亥ノ時マツルツ今ノ  
十時ニ當ルノ鐘ヲ云  
天武紀ニ人定鐘ト見  
ユ人々ノホシヅマル  
頃ノ鐘ナレバナリ。

ねこし

○ 蝶ノ字ヲ訓ムウラヤ  
ハ意クヤシキ意又ニ  
クム意ヲモオブ。

ねぢけ人のこと

ねがはくハ額の事

ねよしの産

ねこし

ねがはくハ額の事

ねよしの産

ねこし

○ ね  
仰スル詞ナリア、セ  
曰カウマ曰ト云フ曰  
ニ同シ。

○ ねぐ  
祈ルナリ。按スルニネ  
ガフノ約ナラン。ガフ  
ノ約グナリ。

○ ねくぬれガ  
寝乱レ髪ナリ  
○ 猿沢ノ池ニ采女ノ身  
ヲナゲレ政事ハ大和  
物語ニクハレ。

ねこじ

○ 根グルメ抜キ取ナリ。  
古事記ニ根コジニネ  
コジテアリ。今俗ニ

ねぢけ人のこと

ねがはくハ額の事

ねよしの産

ねこし

ねがはくハ額の事

根コギト云々

ねごめ  
○根クルメナリ。根ト共ニノ意

ねてのあさけ  
○寐テノ其翌朝ノ明ケ方ナリ

ねざめ

○イネテ後目サノヲ寐ラレヌヲイフ。目覚メトハ別ナリ。故ニ宗匠家ニテ初老後ナラデハヨマセヌヨシ。若キ人ハ寐覚ヲ知ラネバナルベシ。尤ノオキテナリ

奈の部

なごめ  
○寝ヲヨム。繩子ノ義直ナル道ヲ云今モナホナハナ道トイフナリ

ねごめ

ねてのあさけ

ねざめ

イネテ後目サノヲ寐ラレヌヲイフ

目覚メトハ別ナリ

故ニ宗匠家ニテ初老後ナラデハヨマセヌヨシ

若キ

人ハ寐覚ヲ知ラネバナルベシ

尤ノオキテナリ

あふおふ  
あふーおふ  
○名ニ頂フノ意トハ助語ニ心バト受ル格ノ非ナリ

あふまめ  
○難波女ナリ。万葉ニ難波男モ見エタリ

あふおふまめ  
○何事モオモハズナリ

あふおふま  
○十ニカ  
○難波子ニハ通ハセテ云ナリ

あふおふま

あふおふまめ

あふおふまめ

あふおふまめ

あふおふまめ

あふおふまめ

あふおふまめ

あふおふまめ



○ナニシニノ底

○ナニホドモ

○ナニホドノノガアラ  
○ナニデモナイ  
○ナニホドノノガアラ  
ウヅ

○ドノヤウナ心地

あひのびのびにひらひらとすなはれぬ川あふりてあふりてあふりて  
あふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりて

あふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりて

あふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりて

あふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりて

○ナニヤクニタツ  
○ナニカザシ抄ニナンギ  
○ナニフテミヤレト撰  
セリ

○ナニとて  
○ナニニエ

○ナニデ此ヤウニ  
○ナニデマア

○ナニセウゾ

あふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりて

あふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりて

あふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりて

あふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりてあふりて



- ナゼ  
ある
- 産業ナリナリハヒト  
云ニ同シ
- 前ニオナシ  
なりいひ
- 成就ヲ云  
ある
- 実ノ器ゾヲ俗ニナル  
ある

ナゼ  
 〇産業ナリナリハヒト  
 〇前ニオナシ  
 〇成就ヲ云  
 〇実ノ器ゾヲ俗ニナル

ナリ  
 〇産業ナリナリハヒト  
 〇前ニオナシ  
 〇成就ヲ云  
 〇実ノ器ゾヲ俗ニナル

ありいひ  
 〇産業ナリナリハヒト  
 〇前ニオナシ  
 〇成就ヲ云  
 〇実ノ器ゾヲ俗ニナル

ある  
 〇産業ナリナリハヒト  
 〇前ニオナシ  
 〇成就ヲ云  
 〇実ノ器ゾヲ俗ニナル

ある  
 〇産業ナリナリハヒト  
 〇前ニオナシ  
 〇成就ヲ云  
 〇実ノ器ゾヲ俗ニナル

ト云ヘリ前ノナルヲ  
 持タリ。

ト云ヘリ前ノナルヲ  
 持タリ。

あること  
 〇鳴子ハ田畑ノ鳥ヲ追  
 フ具ナリ古クハ引板  
 ト云ヘリ。

あること  
 〇鳴子ハ田畑ノ鳥ヲ追  
 フ具ナリ古クハ引板  
 ト云ヘリ。

あること  
 〇我ト他トノ間ヲサク  
 誤訛ナリ

あること  
 〇我ト他トノ間ヲサク  
 誤訛ナリ

なるの処  
 〇ナガシメ心ニウレ  
 へ樂シカラズ思フト  
 キ見ルトモノクジツ  
 トナガムルヲ云見ル  
 一ニ云ハ非ナリ。

なるの処  
 〇ナガシメ心ニウレ  
 へ樂シカラズ思フト  
 キ見ルトモノクジツ  
 トナガムルヲ云見ル  
 一ニ云ハ非ナリ。

あること  
 〇遠クヲ打望ムコトヲ云

あること  
 〇遠クヲ打望ムコトヲ云

見ルトハ異リ。

- ちりぢり
- 心ガクウ室
- うちやうてニ有頂天
- 中天ニカケテモ云ヒ
- 又ノ詞トシテモ云

○ ちりぢり  
 半ナリ物語ズミニナ  
 カラトモ云。

○ ちりぢり  
 流ルルニナガラフト云  
 心ヲ兼ヌナガルヲ延  
 レバナガラフナリ。  
 フノ約ル也。

ちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢり

ちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢり

ちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢり

ちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢり

ちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢり

ちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢり

ちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢり

- ちりぢり  
 ナガラフハ永登ナリ。
- 世ノ中ニアリフルヲ
- 云。

ちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢり  
 ちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢり

○ ちりぢり

ちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢり

- カハツテ
- ナマシヒニ
- 歌ニヨリテ。譯シ方一
- 様ナラズ。

ちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢり

○ ちりぢり  
 ちりぢり

ちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢり  
 ちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢりちりぢり

。ナンド  
。ナンノコヤ

。比ヲ訓ムナゾラフニ  
ナヅヘナクトハ引ク  
フベガタクニ

。摩觸ノ馴ルノ意ハ  
ツサハマシハナデサ  
ハリタシトナリ

ナンド

ナンノコヤ

比ヲ訓ムナゾラフニ

ナヅヘナクトハ引ク

フベガタクニ

摩觸ノ馴ルノ意ハ

ツサハマシハナデサ

。勿ナリ今俗言ニモ何  
クスケト云ヘリ即チ  
此ハ

。此ハモ勿ナリハ咲ッ  
ハ咲クハト云フニソ  
ヲ濁ルハワロシ  
。ナコソノセキ勿未開ハ古陸奥國菊田郡ニナリ常陸ト異ナリ  
。ナラハシガラ  
。ナラハシハ慣習ナリ

。慈ヲ訓ム今云ナマジ

勿ナリ今俗言ニモ何

クスケト云ヘリ即チ

此ハ

此ハモ勿ナリハ咲ッ

ハ咲クハト云フニソ

ヲ濁ルハワロシ

ナコソノセキ勿未開ハ古陸奥國菊田郡ニナリ常陸ト異ナリ

此ニ同シ。士清云生強  
(ナマジヒ)ノ義ナルベ  
シト。

あよめく

○イヤラシイ

○イロケタツプリ

かげ

○ナサソウナ

○物語フミニ、ナゲノコ

トバナゲノアハレナ

ト云フハ、眞実ノ心ナ

ラヌカリソメ言ト聞

ユ、ナゲノハ無ナリ。

あざる

○波ノ黒ミテ高クタツ

ナリ。今モ舟人ハナゲ

ヲト云ヨレ。

あざるの波の黒みは高くたつなり。今も舟人はなげをうたふ。いふはなげの心なり。

あよめくのやうなうたが、いかに面白いか。あよめくは、あやめくといふ。

あざるの波の黒みは高くたつなり。今も舟人はなげをうたふ。いふはなげの心なり。

あざるの波の黒みは高くたつなり。今も舟人はなげをうたふ。いふはなげの心なり。

あざるの波の黒みは高くたつなり。今も舟人はなげをうたふ。いふはなげの心なり。

あざるの波の黒みは高くたつなり。今も舟人はなげをうたふ。いふはなげの心なり。

あざるの波の黒みは高くたつなり。今も舟人はなげをうたふ。いふはなげの心なり。

○荒ブル神ナゴメント

テノ彼々(ナゴメン)ハ

慰メン(一)説ニ夏越

トカキ六月ノ彼ヲ云

トアレモ余ハ取ラザル。

あざる

○ナゴリハ餘波ノ字ア

タレリ。打ヨヒシ波ノ

逸キ残りタルヲ云。俗

ニ名ゴリ惜シナド云

フトハ甚進ヘリ。新古

今以後ニハ、今云俗語

ノ名残ニ似タルモアレ

モ例トスヘカラズ。六帖ニモ一

首似タルアリ。

あざる

○和ノ意ナリ。朝ナゲ

タナギナド云ヘリ

あざる

○ヒト、ホリニ

あざる

あざるの波の黒みは高くたつなり。今も舟人はなげをうたふ。いふはなげの心なり。

○ナニハ波ヲ兼ス

○居ラヌ

○ルスギヤ

○鳴スノ略

みーの大川のぶの流のあしりゆりりりいんや

おらーのんやあしりゆりりりいんや

おらーのんやあしりゆりりりいんや

おらーのんやあしりゆりりりいんや

### 武の部

おらーのんやあしりゆりりりいんや

睦ミ親シムノ義

おらーのんやあしりゆりりりいんや

睦言ナリオモニ男女ノ間ノ親ミノ話ヲ云ヘリ

おらーのんやあしりゆりりりいんや

かつぐたりシタシミノ物語ナリ

おらーのんやあしりゆりりりいんや

むつき襦袢ヲムツキトヨマセタリミドリコノ木ヲ云コノ歌ニテハ皆睦月(ムツキ)ヲ兼テヨメリ

おらーのんやあしりゆりりりいんや





宇の部

- 心ガシウニナル
- ウチヤウテン(首頂天)

心ガシウニナル  
ウチヤウテン(首頂天)

○宜ラヨム

宜ラヨム

○ナルホド

ナルホド

○モツトモザヤ

モツトモザヤ

○道理ダヤ

道理ダヤ

○チツケム

チツケム

○サシサダメテ

サシサダメテ

○チカアテニ

チカアテニ

○ウツリ橋ヲツマメタルナリ

ウツリ橋ヲツマメタルナリ

○サシサダメテ

サシサダメテ

○ウツリ橋ヲツマメタルナリ

ウツリ橋ヲツマメタルナリ

○ウツリ橋ヲツマメタルナリ

ウツリ橋ヲツマメタルナリ

○琉球國ヲ云ヨシモノ  
ニ見ユレド非ナリ公  
陵島ヲ云ヨシ本朝藤

琉球國ヲ云ヨシモノ  
ニ見ユレド非ナリ公  
陵島ヲ云ヨシ本朝藤

○ワツラハシ

ワツラハシ

○メンダウ

メンダウ

○和名抄ニ抹雨ヲ宇太

和名抄ニ抹雨ヲ宇太

加太トヨミ・潦上ニ雨フリテ沫ノ起ル覆盆ノ如シトアリテ水上ニ浮バ泡ヲ云ナリ

うたうじ

○千ヨツトノ間

○ニハクヅミ水ノアワ  
ナドニヨセテヨメリ

うたうじのきりぎりすのふかきうたうじのきりぎりすのふかきうたうじのきりぎりすのふかき

うたうじ

○歌ニヨリテハハカナ  
イ定メガタイトモ譯ムベシ

うたうじのきりぎりすのふかきうたうじのきりぎりすのふかき

うたうじ

○轉寐ナルベシ  
飯リ寐ヲ云今云フニ同シ

うたうじのきりぎりすのふかきうたうじのきりぎりすのふかき

うれ

○上ナリウルノルハハニ通ス

うれのきりぎりすのふかきうれのきりぎりすのふかき

○うれハ一  
き

うれのきりぎりすのふかきうれのきりぎりすのふかき

うつか

○かざー抄ニハマンガ  
ハ又理窟ニハツレテト  
沢シ和訓集ニハ異  
妙ノ義ナリトアリテ  
此説ニ従フベキ歟

うつかのきりぎりすのふかきうつかのきりぎりすのふかき

○誠心ナリ本心ト云フ  
ニ同シウツリヤスキ  
心ニヨメルハ後世ノ

うつかのきりぎりすのふかきうつかのきりぎりすのふかき

○空見ハ身ノナキ貝ノ

うつかのきりぎりすのふかきうつかのきりぎりすのふかき

うまみ  
 髪ヲ朝ム童児ノサ  
 デザナリ。

うまみ  
 童ノ髪長カヲヌフ。エ  
 ハズシテウナジ(項)ア  
 タリニテ放チ置クヲ云ヘリ。

うらぶれ  
 シホトトシテ心面  
 白クナキ様ナリ

うらうら  
 何トナクカナシキ  
 ウラハ心ナリ。ウラメ  
 ザラヒナド云ウラハ  
 皆同シ。

わたりたかきんてあつる  
 万  
 うらぶれのものをききよ  
 万  
 川のたかきんてあつる  
 古  
 秋のたかきんてあつる  
 万  
 何となくかなしき  
 万  
 うらハ心ナリ。ウラメ  
 ザラヒナド云ウラハ  
 皆同シ。

うの花くた  
 クタシハ解ラス。際  
 雨ニ卵ノ花モクサラ  
 ストノ意ナリ。

うまや  
 今ヤナリ。ウマヤクハ  
 今ヤクナリ。コ、ニハ  
 駅(ウマヤ)ヲカネテヨ  
 メリ。

うま  
 ケツコウナ  
 ホムル詞ナリ。味ノウ  
 マキモ事物ノヨチホム  
 ルウマシモ元トツ意ナ  
 リ。

うげひ  
 神ニ祈念スルナリ。伊

うの花くた  
 万  
 雨ニ卵ノ花モクサラ  
 ストノ意ナリ。

うまや  
 今ヤナリ。ウマヤクハ  
 今ヤクナリ。コ、ニハ  
 駅(ウマヤ)ヲカネテヨ  
 メリ。

うま  
 ケツコウナ  
 ホムル詞ナリ。味ノウ  
 マキモ事物ノヨチホム  
 ルウマシモ元トツ意ナ  
 リ。

うげひ  
 神ニ祈念スルナリ。伊

物類ノウケハハ祖

伊物 *Imo haku no uke ha ha no ura*

ウタレナリタレノ物

六 *uta nari tare no mono*

海松和名美流海藻

土佐 *umimatsu wa naniwa no umi no umi*

ウシロガイナル、  
コ、ロモトナイ  
ケンノンヂヤ

古 *ushiro gai naru, ko, romoto nai, ken non chya*

ウシロガイナル、  
コ、ロモトナイ  
ケンノンヂヤ

女弟 *ushiro gai naru, ko, romoto nai, ken non chya*

初ヲ誦ハ元服ヲウヒ  
カウブリト云ウヒハ  
ハジメニ同シ

合 *hatsuta o yomi nagabito no uchiwa*

ウスクナル又ウスレ  
ウスル、トモハタラ

夫 *usuku naru mata usure usuru, to mo hatara*

冠辞の部

うち日さん

万 *uchi hi san*

○ウツクシキ日ノサス  
宮トツツケシナリ

うちぢびく

ワガ黒髪

春サリクレハ

春ノヤナギ

○ナビク物ニ冠ラセタリ

うちぬる

佐保ノカハラ

○山川ニソヒテノボリ  
行ク道ナレバ云ナラン

うちかきす

竹田ノハラ

ヲチカタビト

○長ク速キ意ニテ冠ラ  
セタルナリ

うもふんる

スルガ

うもふんるの甲斐の國

うもふんるの甲斐の國

うもふんるの甲斐の國

うもふんるの甲斐の國

うもふんるの甲斐の國

うもふんるの甲斐の國

うもふんるの甲斐の國

○打瀧ル瀧ル髪ト云フ意髪ヲクレケヅル時用ル水ヲユスルトイハナリ

うつせ

世イノナ

○ウツセハ現世ナリ

現ノ身ノ命世又人ト

ツバケシナリ

○野ノ中ノ高キ所ヲイフ

○野ノ中ニアル清水ヲ

云歌林良材ニ播磨ノ

印南野ニアリトアレ

氏此説如何アラシ

乃の部

乃の部

乃の部

乃の部

乃の部

のち  
○ラニ意ナシ野ト心得  
ベシ今田舎ニテ云  
ラニ同シ

のむ  
○祈ルナリ

のぶ  
○拭ヲ訓ムヌグフニ同  
シ

のぶ  
○年首ニ神ニ奉ル調物  
ヲ荷前ト云

のぶ  
○奥儀抄其他諸書ニ種

甲  
おのむかへく  
おのむかへく  
おのむかへく  
おのむかへく

乙  
おのむかへく  
おのむかへく  
おのむかへく  
おのむかへく

丙  
おのむかへく  
おのむかへく  
おのむかへく  
おのむかへく

丁  
おのむかへく  
おのむかへく  
おのむかへく  
おのむかへく

戊  
おのむかへく  
おのむかへく  
おのむかへく  
おのむかへく

のむ  
おのむかへく  
おのむかへく  
おのむかへく  
おのむかへく

イノ説アレバ覚束ナシトバ野中ニアル清キ溜リ水ナリト思テヨシ

### 於の部

おろ  
○ヒト・ホリタイガイ  
ナド云意

おろ  
○今負ナリ此歌ニテハ  
誰ニ咎ヲ負ハセテト

おろ  
○オホヨソ  
○オロソカ  
○ボンヤリ

おろ  
○サダカナラス

おろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ

おろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ

おろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ

おろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ

おろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ

おろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ

おろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ  
おろおろおろ

○ホシヤリ  
○彷彿ソレカアラヌカ  
ノ意

○オボツカナキ意

○荊棘ノシゲル道ヲ  
オドロノ道トイヘド  
夫ニモ限ラズ、革ノ深  
クオヒレゲル路ヲモ云メリ、

○今云鳴子ナリ、又引板  
ト云、

わがうたをうたふるは、あはれおぼしきものなり。わがうたをうたふるは、あはれおぼしきものなり。

わがうたをうたふるは、あはれおぼしきものなり。わがうたをうたふるは、あはれおぼしきものなり。

わがうたをうたふるは、あはれおぼしきものなり。わがうたをうたふるは、あはれおぼしきものなり。

わがうたをうたふるは、あはれおぼしきものなり。わがうたをうたふるは、あはれおぼしきものなり。

○高麗又蛇籠ヲオガミ  
トヨム。雨雪ヲ司ル龍  
神ナリ。

○正シカラヌ言ナリ。万  
葉ニ遊詩ト書ケリ。

○愚ヲ訓ム。オカカニオ  
ナシ。

○巴ナリ。ミヅカラジブ  
シ。又時ニヨリ汝ノ意  
ニモナルナリ。

○オノレノルヲハブキ

わがうたをうたふるは、あはれおぼしきものなり。わがうたをうたふるは、あはれおぼしきものなり。

わがうたをうたふるは、あはれおぼしきものなり。わがうたをうたふるは、あはれおぼしきものなり。

わがうたをうたふるは、あはれおぼしきものなり。わがうたをうたふるは、あはれおぼしきものなり。

タル人

おのづから

○オノレこしガ世ニナルヲ云、メイこし別レいこニナルコト、伊勢物語ニ、オノガ世ニナリニケレバウトクナリニケリト。此意也。

おのづから

○メイこし心こしニ

おのづから

○シゼント

○おのづから  
○各ヲ訓ム

おのづから  
おのづから  
おのづから

おのづから  
おのづから  
おのづから

おのづから  
おのづから  
おのづから

おのづから  
おのづから  
おのづから

おのづから  
おのづから  
おのづから

おのづから  
おのづから  
おのづから

おのづから  
おのづから  
おのづから

おのづから  
おのづから  
おのづから

おのづから  
おのづから  
おのづから

おのづから  
おのづから  
おのづから

おのづから  
おのづから  
おのづから

おのづから  
おのづから  
おのづから

おのづから  
おのづから  
おのづから

おのづから  
おのづから  
おのづから

おのづから

○基ヲ云、今俗ニオキツケト云ハリ、  
○おふけあく  
○無負氣ナリ、カニタヘ  
○又重荷ヲ負フ意也

○おこす  
○熾ヲ訓ム、火ヲ盛リニスルコト、源氏物語ニ

○俗ニ云ヨコスニ





ル故

神々月あひひさしや後世のつらき一歩かたはらさびし

おもひがまなく

○オモヒグマナクハ鈴

余翁ハ思ヤリナキ意

ト云ヒ井上文雄ハ思

ヲ残スクマモナキ意トセリ

歌ニヨリテ此意ニテモ聞ユルヤウナレド猶前説ニ従フ方ナルベシ

○思ヲ遣ルナリ

おもひひやう

おもひひやう  
おもひひやう  
おもひひやう

○おもひひやう

古クハ思ヒヲ彼方ニ

ヤルコトニノミ云ヘリ

○中比ヨリハ今云想像

ノ意ニモヨムナリ

おもひひやう  
おもひひやう  
おもひひやう

○おもひひやう

歌林良材ニ草ノ名ニ

アラズトアリ京極黄

門ハ龍騰ヲ云トオボ

ツカナシ實ハ定カナル証ナシ

おもひひやう  
おもひひやう  
おもひひやう

○おもひひやう

面伏也メンボクナイ

ト云フコトオモテオコ

シノウラム

おもひひやう  
おもひひやう  
おもひひやう

○おもひひやう

其コトヲ思ト思フテ

寐ル

おもひひやう  
おもひひやう  
おもひひやう

○おもひひやう

佛經ヨリ出タリ火宅

三車ヲヨメルコトオモ

ヒニ火ヲ兼ヌ

おもひひやう  
おもひひやう  
おもひひやう





○雲ノ旗手ナリ、夕暮ニハ色ノ雲ガ旗、如クナビクナリ、

○袖中抄ニ蕩草ニテ編ミタル袋ナリト云ヘリ、

○祝詞ニ草之垣葉ニ語此由云「トアリ、草ノ

○万葉ニハ蜘蛛ノオノナトアリ、フルマヒモ同シ

○蜘蛛ノスカタヲ体語

夕暮に雲の旗手なるに  
夕暮に雲の旗手なるに  
夕暮に雲の旗手なるに

蕩草の袋の中ニテ  
蕩草の袋の中ニテ  
蕩草の袋の中ニテ

祝詞ニ草之垣葉ニ語  
祝詞ニ草之垣葉ニ語  
祝詞ニ草之垣葉ニ語

万葉ニハ蜘蛛ノオノナトアリ  
万葉ニハ蜘蛛ノオノナトアリ  
万葉ニハ蜘蛛ノオノナトアリ

蜘蛛ノスカタヲ体語  
蜘蛛ノスカタヲ体語  
蜘蛛ノスカタヲ体語

○ニテスガキト云ヘルニ、スカタハ葉懸クナリ、

○禁中ニテ、元且屠蘇酒ヲ奉ルニ、マヅ藥子ニ

○五月五日ヲ藥日ト云、推古紀ニ、五月五日菟田野ニ藥獵スト見エタリ、此日藥草ヲ取ルナリ、

○藥玉ハ色花モテ花ヲツクリ、其中ニ藥ヲイル、之、五月五日ノ儀式ナリ、

○冠辭ノ部

年  
まきまきふりふりあはるる  
まきまきふりふりあはるる  
まきまきふりふりあはるる

夫  
あはるるあはるるあはるる  
あはるるあはるるあはるる  
あはるるあはるるあはるる

夫  
あはるるあはるるあはるる  
あはるるあはるるあはるる  
あはるるあはるるあはるる

冠辭ノ部

あはるるあはるるあはるる  
あはるるあはるるあはるる  
あはるるあはるるあはるる



やづて

。其マ、スゲニトリモ  
ナホサズナド、其歌ノ  
カ、リニヨリテ、歌シ  
方ニタガヒアリ。

やつす

。ミスボラシクスナリ、  
折ヤツスハ、ヲリヘラスノ意、

やつれ

。前ノ歌ニ、同シ、自他ノ  
違アルノミ、

やらぐ

。何ノ得ガズニ  
コハ行々キヲユカズ  
咲ベキヲリカ又意ナ  
リ、ユカテサカデト云

は	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~
か	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~
わ	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~
推	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~
ま	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~
あ	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~
係	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~
ベ	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~

やまぶー  
。僧ノ、ナリ

やまびこ

。山彦トカク、山響ノ  
ナリ、俗ニコダマト示  
ス。

やまふ衣

。頭取ノ注ニ、山田ナド  
ノ山ヲ分ケ行ク衣ヲ  
イフトアレド、旅人ニ  
モ云ベシ

やまらたづく

。山ニカタヨルナリ  
。カ葉ニ海カタツキテ  
谷カタツキテトモヨ  
メリ、

は	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~
古	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~
六	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~
七	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~
新	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~
子	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~
万	~~~~~ ~~~~~ ~~~~~

冠辞の部

やくもたう

イヅモ

イヅモハ出ル雲ト云 語ナレバイヤ雲タツトコトバラ重ネ冠ラセ玉ヒシナリ。

やまのみの

アサキ

山ノ井ハ浅キモノナレバ浅シト云フニ冠ラセタリ。

やまだちの

トゴノトナシノ関

及ノ継ヲ人ノ心ノ織ニ云ヒカケシナリ。

やすい志ノ

ワガオホキミ

ハ隅マデ残ナク知シメス 天賦ト申スナリト誰モ思ヘド、縣居翁ハ安ラケクミソナハシ知ロモ召レ五ノ

山すげの

ミナラヌ

マコトナラヌコヲ、冥ナラヌト云テ、山菅ノ実ナラヌトハ云カケシナリ。

古車花 古ナリ

やまのみの

やまだちの

やすい志ノ

山すげの

末の部

おろ

我トイフニオナシ

又男子ノ通称

おろ 人のかやうにあつて... 我トイフニオナシ 又男子ノ通称

おろね

帯紐トカズニネル獨

寐ヲ云マロブシト云

フモ同シ

疎ヲ訓ム俗ニ同シ

おろね 帯紐トカズニネル獨 寐ヲ云マロブシト云 フモ同シ 疎ヲ訓ム俗ニ同シ



まぢ申

○マボシイト云ニ近シ  
直向ニムカハレヌノ

意士清云 取映ノ義ナルシト

○随意ナリ晴ル、マニ  
マニハ、晴ル、ニ隨ヒ  
隨テシ

○真顔ナリ、正面ヲ云

○夢ノ如ク影ノ如キヲ  
云ヒ又幻術方士ヲモ  
云此前ノ歌ハ夢幻ノ

意後ノ歌ハ方士ナリ

○少眠ナリ即湯ケル義  
ナルベシト士清云ハ

○圓居ナリ、今俗ニ云車  
坐ニ居ル、播守部云  
古本今昔物語ニ、纏居  
ト書タルヲ正字トス

○マギレナリ、乱ル、ヲ  
云、チノ部、チリノ、マ  
ガヒヲ見合ハスベシ

○辞シ去ルコトニ死ヲ

か〜〜ふおハ思ヒ〜〜ガのちろ〜〜ひ〜〜ガキ〜〜  
げ〜〜ハぬま〜〜ら〜〜ど〜〜も〜〜あ〜〜ま〜〜の〜〜し〜〜ハ、  
お〜〜方〜〜の〜〜あ〜〜は〜〜い〜〜は〜〜い〜〜は〜〜い〜〜は〜〜い

そ〜〜れ〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜は〜〜い〜〜は〜〜い〜〜は〜〜い〜〜は〜〜い

あ〜〜の〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜の

あ〜〜の〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜の

あ〜〜の〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜の

あ〜〜の〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜の

あ〜〜の〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜の〜〜あ〜〜の

身マカルト云行ク一ヲ物(マカリケル又俗ニマカリ越スナイヘルハコトバノイタク轉ジタル)

○シバガキ、和名抄ニ  
籬和名未加岐一ニ曰  
末世樂ヲ以テ造ルト  
アリ、

○ヤブル、ナリ、かノ部  
ノかノのまよむニ詳  
カナリ、

○其時節ヨリ前ノ意  
未ダシキ、

○其時モコナイノニモ

甲 *あはれいんりんあまら* *やまやまやまやまやまやま* *あまら*

推 *あまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら*

万 *あまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら*

日 *あまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら*

乙 *あまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら*

計 *あまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら*

サ *あまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら*

ハヤト云意朝マダキ  
ハ未明ナリ、

オウ

○マタクハ待ナリマツ  
ヲ延テマタクト云タクノ  
結ツナリ、

○全マツタクヲモヨノ  
リ

○瞬ヲ脚ム、取、吹クノ炎  
ク、燈ニマタ、クトヨメルハ、  
風ニテ燭ノチラヒスルヲ云、  
源氏タテ巻ニ火ノホノカニ  
マタ、キテトアリ、

○マレ(獲)ト云ニ同シト  
心得ズシ、只コトバヲ  
ユルメタルノミ、キヨ

は *あまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら*

い *あまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら*

万 *あまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら*

於 *あまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら*

中 *あまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら*

山 *あまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら* *のこまら*





○ちぎき  
描金ヲ云俗ニ蒔繪ト  
カク人

○今云マギレニ同シ乱  
ルノ意

○まゆ根かく  
人ニ恋ラレバ眉ノ  
カユキト云諺アルナ  
リ万葉集ノ中ニヨミ  
歌多シ

○まめ  
神代記ニ誠忠ヲヨメ  
リ寢惚ニカタキト云  
又伊勢物語ノマメ男  
ハ好色人ヲタハムレ  
テ云ヘリニス

まゆ根かく

まゆ根かく

まゆ根かく

まゆ根かく

まゆ根かく

まゆ根かく

まゆ根かく

○ちどき  
マジキハ俗ニ云何々  
スマイナド云フマイ  
ニ當レリタユマジキ  
ハタヒマイト思フノ  
意ガヘルマジケレハ  
カヘルマイト云フ  
人

○イハンヤ  
○イナバイ  
○俗ニモマシテト云人

○まの  
マビハ幣ナリ人ニオ  
クル品ナリ今マビナ  
ヒト云ニ同シ

ちどき

ちどき

ちどき

ちどき

ちどき

ちどき

よせ

○紫垣ぐまがキニ同シ

於此の... 柱... 及び... 山

冠辭の部

冠の... 吉備ハヨキ鉄ヲ出ス所ナレバ冠ヲセタリ

○吉備ハヨキ鉄ヲ出ス所ナレバ冠ヲセタリ

まぐねふく

○久良我ハ地名久良ノ及ハ評トレバ約メテコガトモイヒシ故重ネタルナリ

よすのい

○マスカ、ミハ真澄鏡

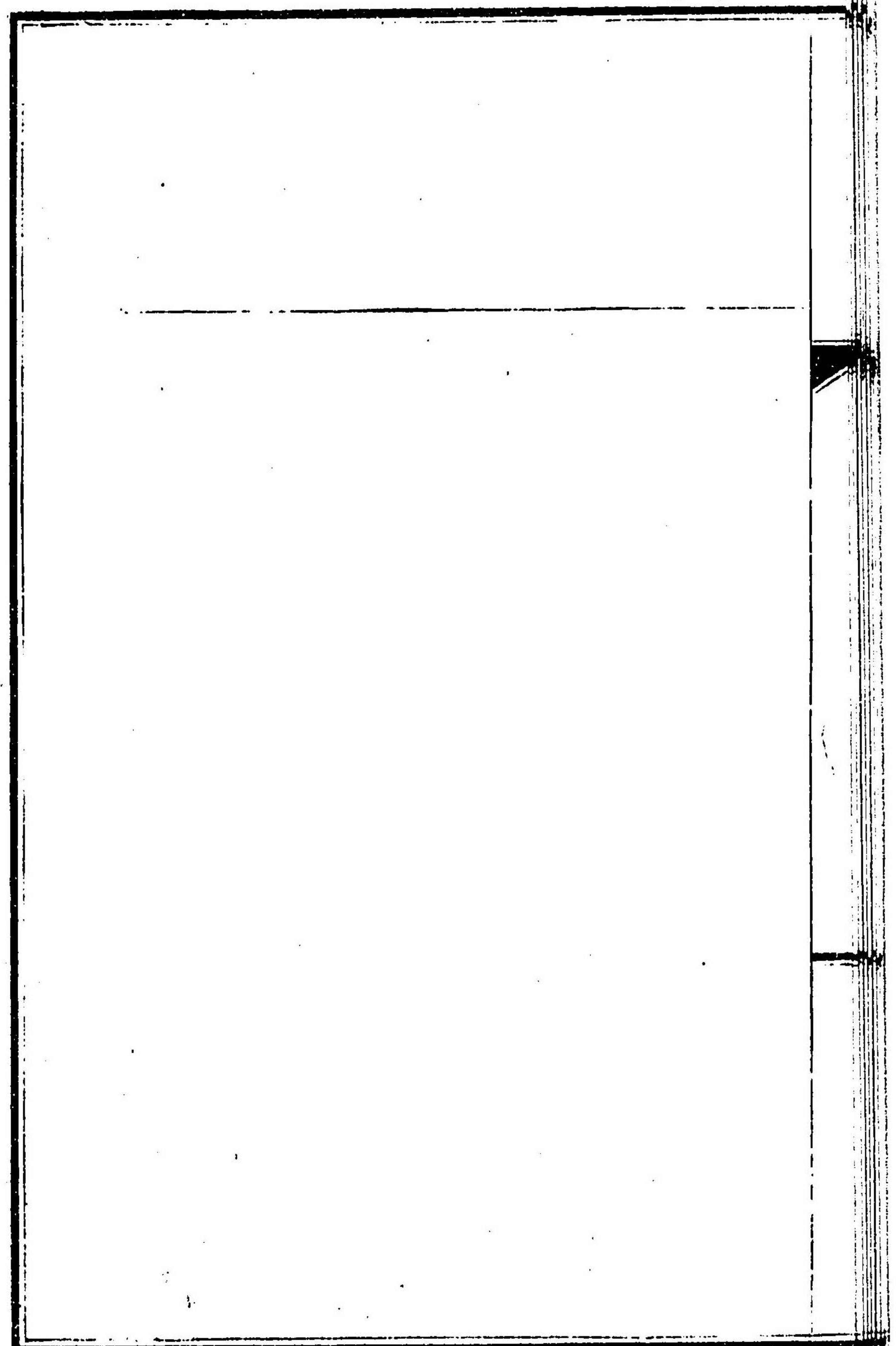
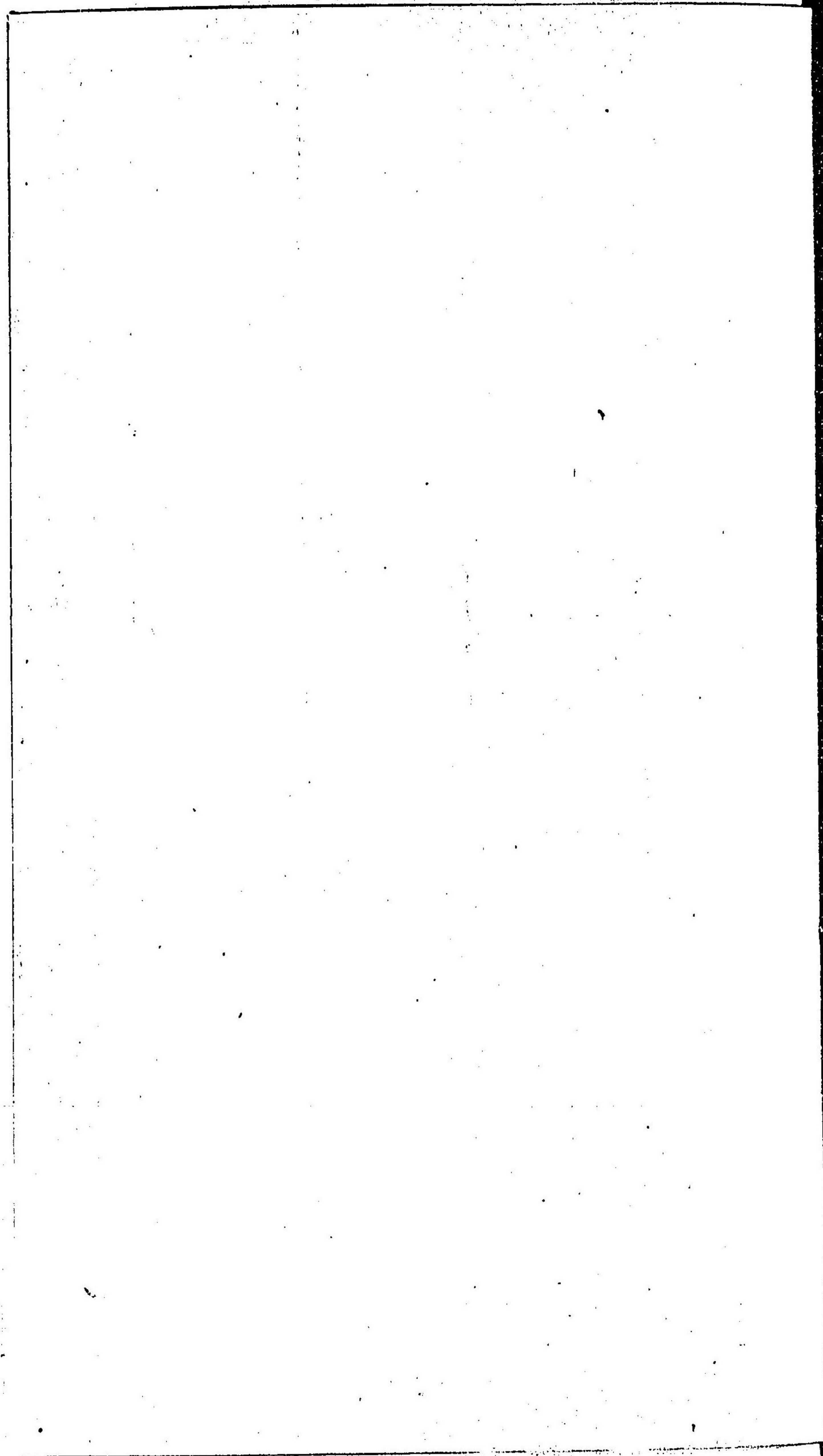
よすの... 山

ト云意ナリ。マスミノカバミトモヨメリ鏡ノ縁モテテルオモカケニ冠ラヒタルナリ

山... の屋... のは...

雅言解卷三終

ま



112/11

